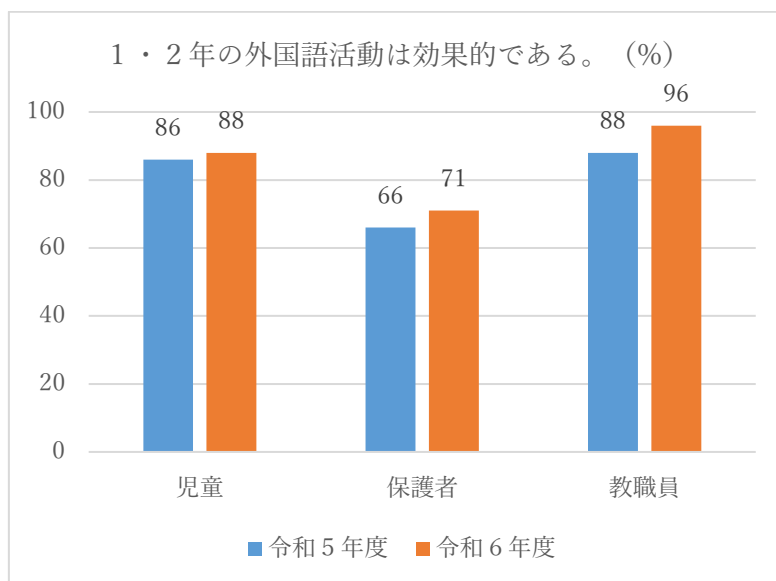




グラフは、令和6年度に実施した学校評価アンケートの結果です。

「低学年の年間14時間の外国語活動は効果的である」に肯定的な回答をした児童（3・4年生）は、88%と令和5年度より2ポイント増加しました。引き続き、効果が継続していることを読み取ることができました。

また、保護者、教職員についても、令和5年度から肯定的な数値が大きく増加していることが読み取れます。しかし、以前からの課題である、保護者の方々と児童、教職員との数値の差が埋まっていません。引き続き、低学年からの外国語活動についての目的と効果について、保護者の方々に広報していく必要があると考えられます。

令和7年度も引き続き、浦安市外国語活動学習活動プログラムを効果的に活用し、ペア活動、体験活動、ICT機器の利活用、ALTとの交流を充実させ、外国語によるコミュニケーション活動を活性化させていきます。